

2021年度
第3四半期決算説明資料

2022年1月13日

株式会社 乃村工藝社



1. 2021年度 第3四半期決算概要
2. 2021年度 第3四半期決算補足資料
3. 当社グループの概要

将来の見通しに関する注意事項

記載されている業績予想などの将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報にもとづき、当社が合理的と判断したものです。潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 2021年度 第3四半期決算概要

2021年度 第3四半期 連結業績ハイライト

- 第3四半期における大型案件の完工、グループ会社事業の改善により売上高が増加、コスト管理の徹底、固定費削減策により利益率が改善したことから、前年同期に比べ営業増益となった。

(百万円)	2020年度		2021年度		
	3Q	対売上高 構成比	3Q	対売上高 構成比	前年同期比
売上高	72,163	100.0%	74,770	100.0%	+2,607 (+3.6%)
売上総利益	13,554	18.8%	14,159	18.9%	+604 (+4.5%)
営業利益	1,528	2.1%	3,147	4.2%	+1,618 (+105.9%)
経常利益	1,638	2.3%	3,289	4.4%	+1,650 (+100.8%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	739	1.0%	2,403	3.2%	+1,663 (+225.0%)

売上高・売上総利益

①売上高

	2020年度3Q	2021年度3Q	前年同期比
売上高	72,163百万円	74,770百万円	+2,607百万円 (+3.6%)

- 第3四半期において大型案件の完工があった、百貨店・量販店市場、博物館・美術館市場、博覧会・イベント市場などの売上高が増加したことにより、前年同期に比べ3.6%の増収となった。

②売上総利益

	2020年度3Q	2021年度3Q	前年同期比
売上総利益	13,554百万円	14,159百万円	+604百万円 (+4.5%)
<売上総利益率>	18.8%	18.9%	+0.1ポイント

- 売上総利益率は、大型案件の利益率が改善したことなどにより、前年同期に比べ0.1%改善し18.9%となった。

営業利益

① 販売管理費

	2020年度3Q	2021年度3Q	前年同期比
人件費	7,406百万円	7,234百万円	△171百万円 (△ 2.3%)
経費	4,619百万円	3,777百万円	△842百万円 (△18.2%)
販売管理費	12,025百万円	11,011百万円	△1,014百万円 (△ 8.4%)
<販売管理費比率>	16.7%	14.7%	△2.0ポイント

■ 販売管理費は、人件費・経費削減の効果により前年同期に比べ8.4%減少、販売管理費比率は売上高の増加もあり2.0ポイント低下し14.7%となった。

② 営業利益

	2020年度3Q	2021年度3Q	前年同期比
営業利益	1,528百万円	3,147百万円	+1,618 百万円 (+105.9%)

■ 営業利益は、売上高増加にともなう総利益の増加および販売管理費の削減により、前年同期に比べ105.9%増の31億47百万円となった。

経常利益

① 営業外損益

	2020年度3Q	2021年度3Q	前年同期比
営業外収益	125百万円	141百万円	+15百万円
営業外費用	16百万円	0百万円	△16百万円

- 営業外収益は、受取配当金等により増加、営業外費用は、為替差損等が減少したことにより、前年同期に比べ減少した。

② 経常利益

	2020年度3Q	2021年度3Q	前年同期比
経常利益	1,638百万円	3,289百万円	+1,650百万円 (+100.8%)

- 経常利益は、営業利益の増加にともない前年同期に比べ100.8%の増加となった。

四半期純利益

① 特別損益

	2020年度3Q	2021年度3Q	前年同期比
特別利益	0百万円	453百万円	+452百万円
特別損失	147百万円	65百万円	△81百万円

- 特別利益は、投資有価証券の売却益により増加した。
- 特別損失は、固定資産除却損、投資有価証券評価損等が生じたものの、前年同期のコロナウイルス感染症の影響による飲食・物販事業の臨時休業による損失等が減少したことにより減少した。

② 法人税等・四半期純利益

	2020年度3Q	2021年度3Q	前年同期比
法人税等	758百万円	1,279百万円	+521百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	739百万円	2,403百万円	+1,663百万円 (+225.0%)

- 法人税等は、利益の増加にともない増加した。
- 四半期純利益は、経常利益の増加、特別利益の計上にともない前年同期に比べ225.0%の増益となった。

市場分野別の売上高

- 科学博物館、歴史博物館等の完工があった博物館市場、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連の大型案件があった博覧会・イベント市場、オフィスの新装・改装需要が増加したその他市場が増収となった。
- 一方でコロナウイルス感染症の影響による大型商業施設の改装、リアル空間における展示会や販促イベント、ホテルの新装・改装の大型案件等の減少および、顧客プロジェクトの延期・中止により、複合商業施設市場、広報・販売促進市場、余暇施設市場が減収となった。

	2020年度3Q 売上高		売上 総利益率	2021年度3Q 売上高		売上 総利益率
	金額(百万円)	前年同期比		金額(百万円)	前年同期比	
専門店市場	19,693	△25.3%	↑20.4%	18,760	△4.7%	↓16.1%
百貨店・量販店市場	2,504	△43.6%	↓21.2%	3,447	+37.6%	↑24.7%
複合商業施設市場	8,755	△24.2%	↓17.9%	4,394	△49.8%	↓18.0%
広報・販売促進市場	10,721	△16.9%	↓19.1%	5,460	△49.1%	↑20.5%
博物館・美術館市場	5,625	△28.4%	↑20.0%	8,174	+45.3%	↑21.1%
余暇施設市場	8,766	△9.5%	↓13.6%	5,439	△38.0%	↑15.4%
博覧会・イベント市場	1,297	△46.1%	↓21.3%	11,675	+799.9%	↓18.7%
その他市場	14,243	△46.7%	↓20.8%	16,847	+18.3%	↑21.0%
ディスプレイ事業 小計	71,608	△29.8%	↓18.9%	74,199	+3.6%	↑19.0%
飲食・物販事業	555	△71.2%	↓7.7%	571	+2.9%	↑16.3%
合 計	72,163	△30.5%	↓18.8%	74,770	+3.6%	↑18.9%

市場分野別の受注高・受注残高

- 受注高は、海外ブランド、スポーツ用品店舗などの需要が増加した専門店市場、中部・関西圏の改装案件を受注した百貨店・量販店市場、ホテル、テーマパークの大型受注があった余暇施設市場、オフィス環境整備等の需要が増加したその他市場が増加し、前年同期に比べ21.3%の増加となった。
- 受注残高は、専門店市場、百貨店・量販店市場、余暇施設市場において改装等の需要が増加したものの、広報・販売促進市場、博物館・美術館市場、博覧会・イベント市場等において大型案件の売上計上があったため前年同期に比べ15.3%の減少となった。

	2020年度3Q		2021年度3Q		受注高 前年同期比	受注残高 前年同期比
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)		
専門店市場	15,518	6,134	19,722	8,207	+27.1%	+33.8%
百貨店・量販店市場	1,624	668	4,976	2,621	+206.3%	+292.4%
複合商業施設市場	6,717	4,848	6,036	4,865	△10.1%	+0.4%
広報・販売促進市場	6,091	6,180	4,910	2,373	△19.4%	△61.6%
博物館・美術館市場	7,272	9,707	7,575	8,306	+4.2%	△14.4%
余暇施設市場	5,888	7,749	12,326	12,462	+109.3%	+60.8%
博覧会・イベント市場	4,855	12,696	3,800	4,315	△21.7%	△66.0%
その他市場	18,667	18,002	21,482	12,763	+15.1%	△29.1%
合 計	66,636	65,986	80,831	55,916	+21.3%	△15.3%

(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません

2021年度 連結業績予想

- 期末にかけても新型コロナウイルス感染症の影響により、不透明な市場環境が続くものと予測しているが、第3四半期の状況を踏まえ、昨年7月の通期業績予想を上方修正

(百万円)	2020年度			2021年度(予想)		
	通期	対売上高 構成比	前期比	通期	対売上高 構成比	前期比
売上高	107,736	100.0%	△25.0%	110,000	100.0%	+2.1%
営業利益	4,882	4.5%	△56.0%	4,500	4.1%	△7.8%
経常利益	5,010	4.7%	△55.4%	4,650	4.2%	△7.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,071	2.9%	△60.6%	3,300	3.0%	+7.4%
1株当たり配当金	25.00円	—	△7.00円	25.00円	—	—

2. 2021年度 決算補足資料

【前期末比較】連結貸借対照表

		2020年度末		2021年度3Q末				ポイント
		金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	前期末比		
資 産	流動資産	66,397	81.0%	63,144	81.5%	△3,252	△4.9%	受取手形及び売掛金が減少したことにより32億52百万円減少。
	固定資産	15,611	19.0%	14,300	18.5%	△1,311	△8.4%	投資有価証券の売却および敷金の回収などにより13億11百万円減少。
	資産合計	82,009	100.0%	77,445	100.0%	△4,564	△5.6%	
負 債 純 資 産	流動負債	29,207	35.6%	25,095	32.4%	△4,111	△14.1%	買掛金の減少および大型案件完工による前受金の減少などにより41億11百万円減少。
	固定負債	5,272	6.4%	5,167	6.7%	△105	△2.0%	退職給付に係る負債の減少などにより1億5百万円減少。
	負債合計	34,480	42.0%	30,262	39.1%	△4,217	△12.2%	
	純資産	47,529	58.0%	47,182	60.9%	△346	△0.7%	配当金の支払いなどにより3億46百万円減少。
	負債純資産合計	82,009	100.0%	77,445	100.0%	△4,564	△5.6%	

【前年同期比較】連結損益計算書

第3四半期	2020年度		2021年度				ポイント
	金額 (百万円)	対売上高 構成比	金額 (百万円)	対売上高 構成比	前年同期比		
売上高	72,163	100.0%	74,770	100.0%	+2,607	+3.6%	複合商業施設市場、広報・販売促進市場、余暇施設市場等の売上が大きく減少した一方で、博物館・美術館市場、博覧会・イベント市場などにおいて大型案件の完工があり増収。
売上総利益	13,554	18.8%	14,159	18.9%	+604	+4.5%	売上高増加の影響ならびに大型案件の計画原価の改善などにより総利益率が前年同期に比べ0.1ポイント良化。
販売管理費	12,025	16.7%	11,011	14.7%	△1,014	△8.4%	賞与減少などによる人件費減、広告宣伝費、採用費の減少などによる経費減により10億14百万円減少。
営業利益	1,528	2.1%	3,147	4.2%	+1,618	+105.9%	売上高の増加および総利益率の改善、販売管理費の減少により前年同期に比べ105.9%の増益。
経常利益	1,638	2.3%	3,289	4.4%	+1,650	+100.8%	営業利益の増加により増益。
特別利益	0	0.0%	453	0.6%	+452	—	投資有価証券の売却益などにより4億52百万円の増加。
特別損失	147	0.2%	65	0.1%	△81	△55.5%	コロナウイルス影響による飲食・物販事業の臨時休業にともなう損失および事業構造改善費用を計上。
親会社株主に帰属する 四半純利益	739	1.0%	2,403	3.2%	+1,663	+225.0%	経常利益の増加により増益。

【前年同期比較】市場分野別 売上高・売上総利益率

第3四半期	2020年度			2021年度			ポイント
	売上高		売上 総利益率	売上高		売上 総利益率	
	金額 (百万円)	前年 同期比		金額 (百万円)	前年 同期比		
専門店市場	19,693	△25.3%	↑20.4%	18,760	△4.7%	↓16.1%	海外ブランド、スポーツブランド店舗等を手掛けたが、大型案件の減少により減収。
百貨店・量販店市場	2,504	△43.6%	↓21.2%	3,447	+37.6%	↑24.7%	百貨店の大型改装、各種催事案件を手掛け増収。
複合商業施設市場	8,755	△24.2%	↓17.9%	4,394	△49.8%	↑18.0%	大型施設の改装案件の減少により減収。
広報・販売促進市場	10,721	△16.9%	↓19.1%	5,460	△49.1%	↑20.5%	緊急事態宣言の発出、延長にともなう販売促進活動の抑制および展示会、イベント等の延期・中止の影響により減収。
博物館・美術館市場	5,625	△28.4%	↑20.0%	8,174	+45.3%	↑21.1%	総合博物館など大型案件の完工により増収。
余暇施設市場	8,766	△9.5%	↓13.6%	5,439	△38.0%	↑15.4%	ホテル、テーマパークの大型案件が減少し減収。
博覧会・イベント市場	1,297	△46.1%	↓21.3%	11,675	+799.9%	↓18.7%	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催にともなう各種周辺案件の完工により増収。
その他市場	14,243	△46.7%	↓20.8%	16,847	+18.3%	↑21.0%	オフィス環境整備の案件を多数手掛け増収。
ディスプレイ事業 小計	71,608	△29.8%	↓18.9%	74,199	+3.6%	↑19.0%	
飲食・物販事業	555	△71.2%	↓7.7%	571	+2.9%	↑16.3%	新型コロナウイルス感染症にともなう運営店舗の臨時休業の影響が薄れ増益。
合計	72,163	△30.5%	↓18.8%	74,770	+3.6%	↑18.9%	

【前年同期比較】市場分野別 売上高・受注高・受注残高

■ 合計

(百万円)

第3四半期	2020年度	2021年度	前年同期比	
売上高	72,163	74,770	+2,607	+3.6%
受注高	66,636	80,831	+14,195	+21.3%
受注残高	65,986	55,916	△10,070	△15.3%

第3四半期	2020年度	2021年度	前年同期比	
■ 専門店市場				
売上高	19,693	18,760	△932	△4.7%
受注高	15,518	19,722	+4,204	+27.1%
受注残高	6,134	8,207	+2,072	+33.8%
■ 百貨店・量販店市場				
売上高	2,504	3,447	+942	+37.6%
受注高	1,624	4,976	+3,351	+206.3%
受注残高	668	2,621	+1,953	+292.4%
■ 複合商業施設市場				
売上高	8,755	4,394	△4,360	△49.8%
受注高	6,717	6,036	△681	△10.1%
受注残高	4,848	4,865	+17	+0.4%
■ 広報・販売促進市場				
売上高	10,721	5,460	△5,261	△49.1%
受注高	6,091	4,910	△1,180	△19.4%
受注残高	6,180	2,373	△3,806	△61.6%

第3四半期	2020年度	2021年度	前年同期比	
■ 博物館・美術館市場				
売上高	5,625	8,174	+2,548	+45.3%
受注高	7,272	7,575	+303	+4.2%
受注残高	9,707	8,306	△1,400	△14.4%
■ 余暇施設市場				
売上高	8,766	5,439	△3,326	△38.0%
受注高	5,888	12,326	+6,437	+109.3%
受注残高	7,749	12,462	+4,713	+60.8%
■ 博覧会・イベント市場				
売上高	1,297	11,675	+10,377	+799.9%
受注高	4,855	3,800	△1,055	△21.7%
受注残高	12,696	4,315	△8,381	△66.0%
■ その他市場				
売上高	14,243	16,847	+2,603	+18.3%
受注高	18,667	21,482	+2,815	+15.1%
受注残高	18,002	12,763	△5,238	△29.1%

【四半期推移】 業績サマリー

(百万円)

	2020年度				2021年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	25,997	27,722	18,442	35,573	20,785	22,943	31,040	
売上総利益	5,442	4,917	3,195	7,518	3,861	4,418	5,879	
売上総利益率	20.9%	17.7%	17.3%	21.1%	18.6%	19.3%	18.9%	
販売管理費	4,049	3,895	4,081	4,164	3,767	3,591	3,652	
販売管理費比率	15.5%	14.1%	22.1%	11.7%	18.2%	15.7%	11.8%	
営業利益 (△損失)	1,392	1,021	△885	3,353	93	827	2,227	
営業利益率	5.4%	3.7%	－	9.4%	0.4%	3.6%	7.2%	
経常利益 (△損失)	1,439	1,047	△848	3,372	165	864	2,258	
経常利益率	5.5%	3.8%	－	9.5%	0.8%	3.8%	7.3%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (△損失)	766	640	△668	2,332	14	708	1,680	
親会社株主に帰属する 四半期純利益率	3.0%	2.3%	－	6.6%	0.1%	3.1%	5.4%	
受注高	21,887	21,541	23,207	18,677	28,936	28,088	23,807	
受注残高	66,947	60,961	65,986	49,283	57,607	62,943	55,916	

【四半期推移】 市場分野別 売上高

(百万円)

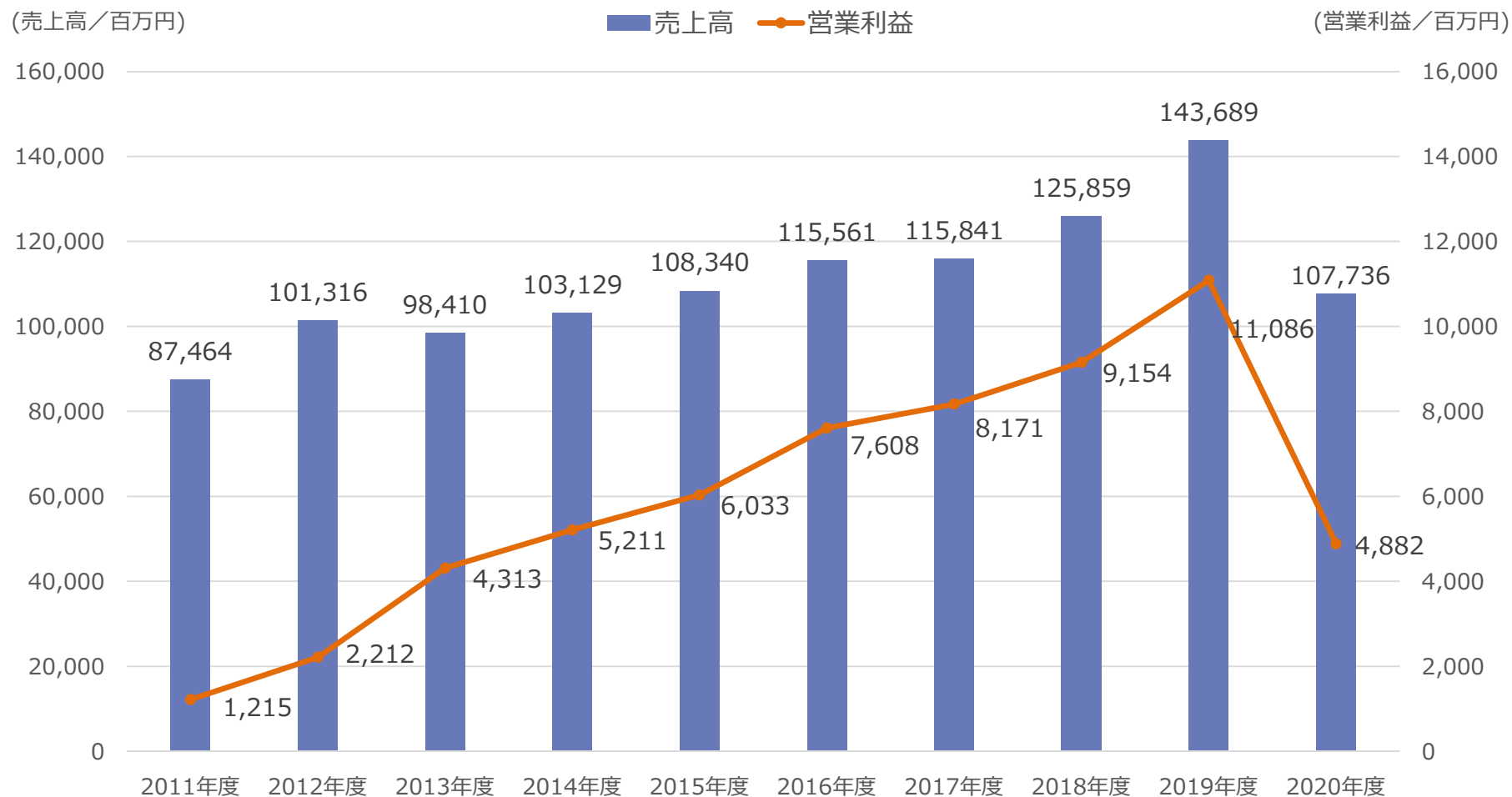
	2020年度				2021年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
専門店市場	7,676	7,107	4,909	5,798	6,199	4,926	7,634	
百貨店・量販店市場	911	687	905	1,017	758	997	1,690	
複合商業施設市場	3,263	3,409	2,082	3,281	1,837	1,035	1,522	
広報・販売促進市場	2,671	6,303	1,746	4,315	1,742	1,734	1,983	
博物館・美術館市場	3,322	1,396	906	2,659	4,050	2,684	1,439	
余暇施設市場	4,234	2,257	2,273	2,895	1,993	1,240	2,206	
博覧会・イベント市場	147	770	379	1,157	297	2,217	9,160	
その他市場	3,673	5,594	4,975	14,255	3,733	7,916	5,197	
ディスプレイ事業 小計	25,900	27,527	18,179	35,380	20,611	22,752	30,834	
飲食・物販事業	96	195	262	192	173	190	206	
合 計	25,997	27,722	18,442	35,573	20,785	22,943	31,040	

【四半期推移】 市場分野別 受注高・受注残高

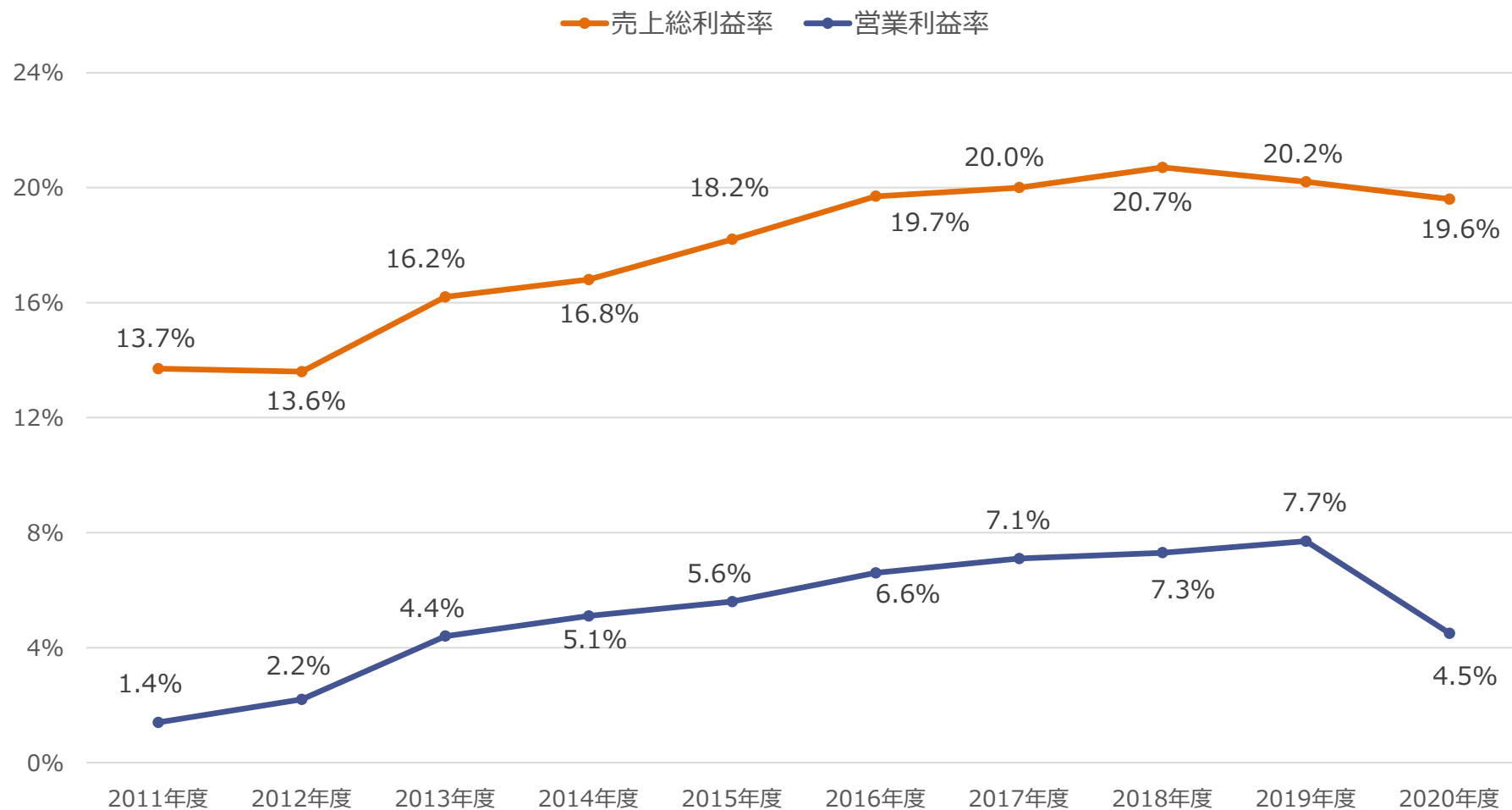
(百万円)

	2020年度				2021年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
■ 受注高								
専門店市場	4,401	4,757	6,359	6,908	5,560	6,025	8,136	
百貨店・量販店市場	324	563	737	1,441	1,213	2,730	1,032	
複合商業施設市場	2,347	1,719	2,650	1,656	876	2,340	2,819	
広報・販売促進市場	1,845	2,325	1,921	1,057	743	2,404	1,762	
博物館・美術館市場	3,629	2,230	1,411	1,857	4,374	2,141	1,059	
余暇施設市場	1,013	2,371	2,503	722	5,649	4,445	2,231	
博覧会・イベント市場	1,750	983	2,122	651	2,969	432	398	
その他市場	6,574	6,589	5,502	4,381	7,547	7,567	6,366	
合計	21,887	21,541	23,207	18,677	28,936	28,088	23,807	
■ 受注残高								
専門店市場	7,035	4,684	6,134	7,245	6,606	7,705	8,207	
百貨店・量販店市場	960	836	668	1,091	1,547	3,279	2,621	
複合商業施設市場	5,969	4,280	4,848	3,223	2,262	3,568	4,865	
広報・販売促進市場	9,984	6,006	6,180	2,922	1,924	2,594	2,373	
博物館・美術館市場	8,368	9,202	9,707	8,905	9,229	8,686	8,306	
余暇施設市場	7,405	7,519	7,749	5,575	9,232	12,437	12,462	
博覧会・イベント市場	10,741	10,953	12,696	12,190	14,862	13,077	4,315	
その他市場	16,482	17,477	18,002	8,128	11,943	11,594	12,763	
合計	66,947	60,961	65,986	49,283	57,607	62,943	55,916	

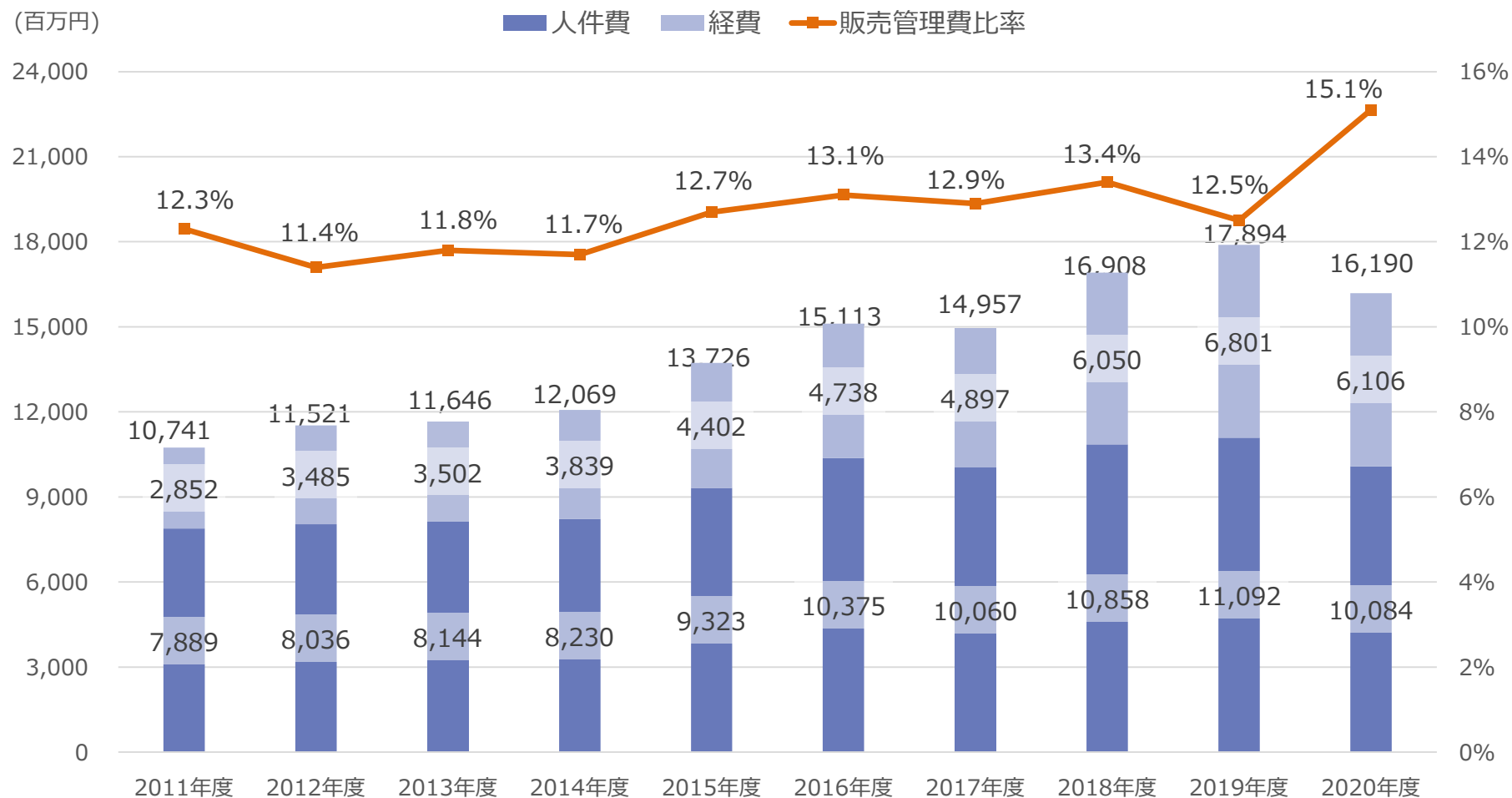
【通期推移】 売上高・営業利益



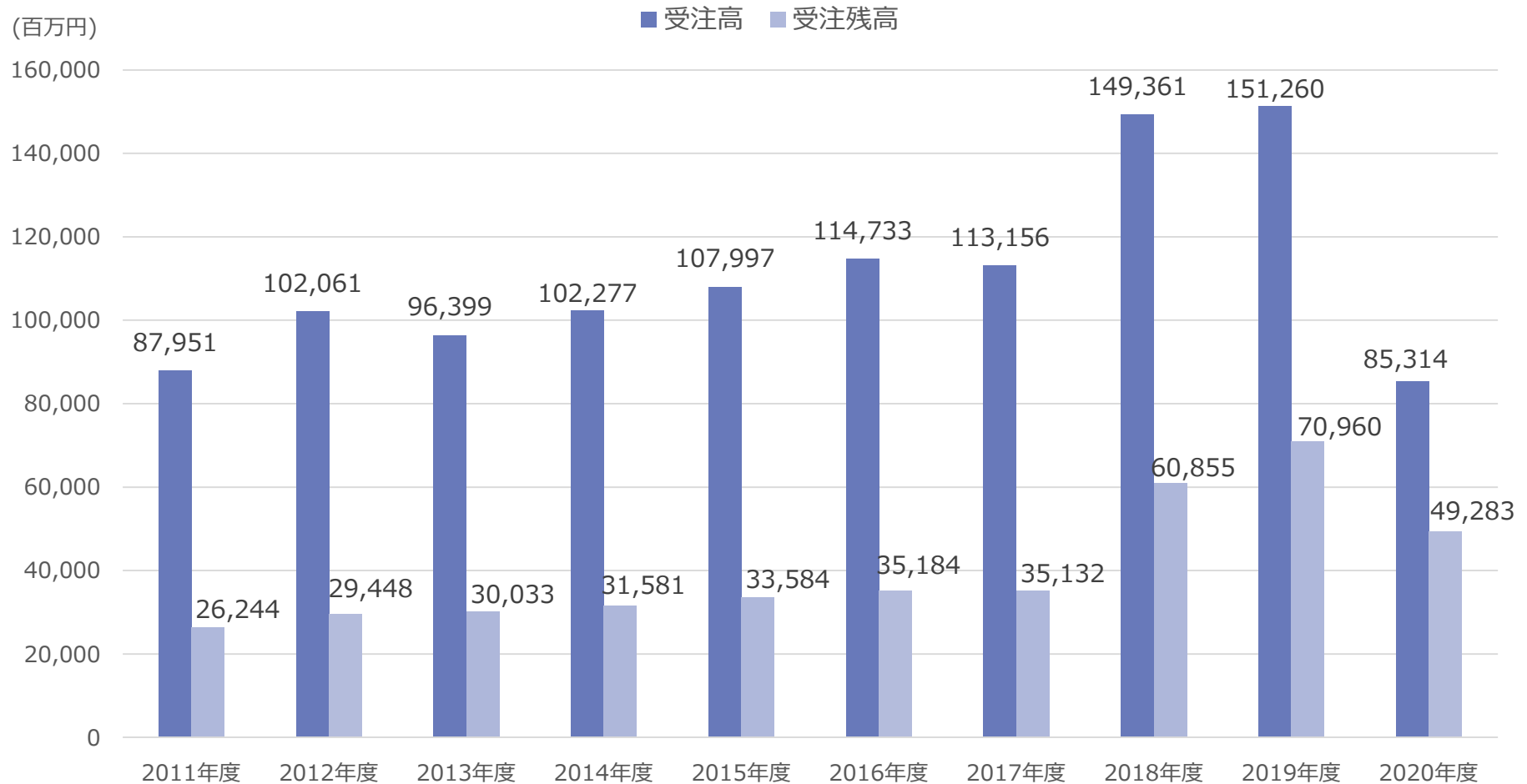
【通期推移】 売上総利益率・営業利益率



【通期推移】 販売管理費・販売管理費比率

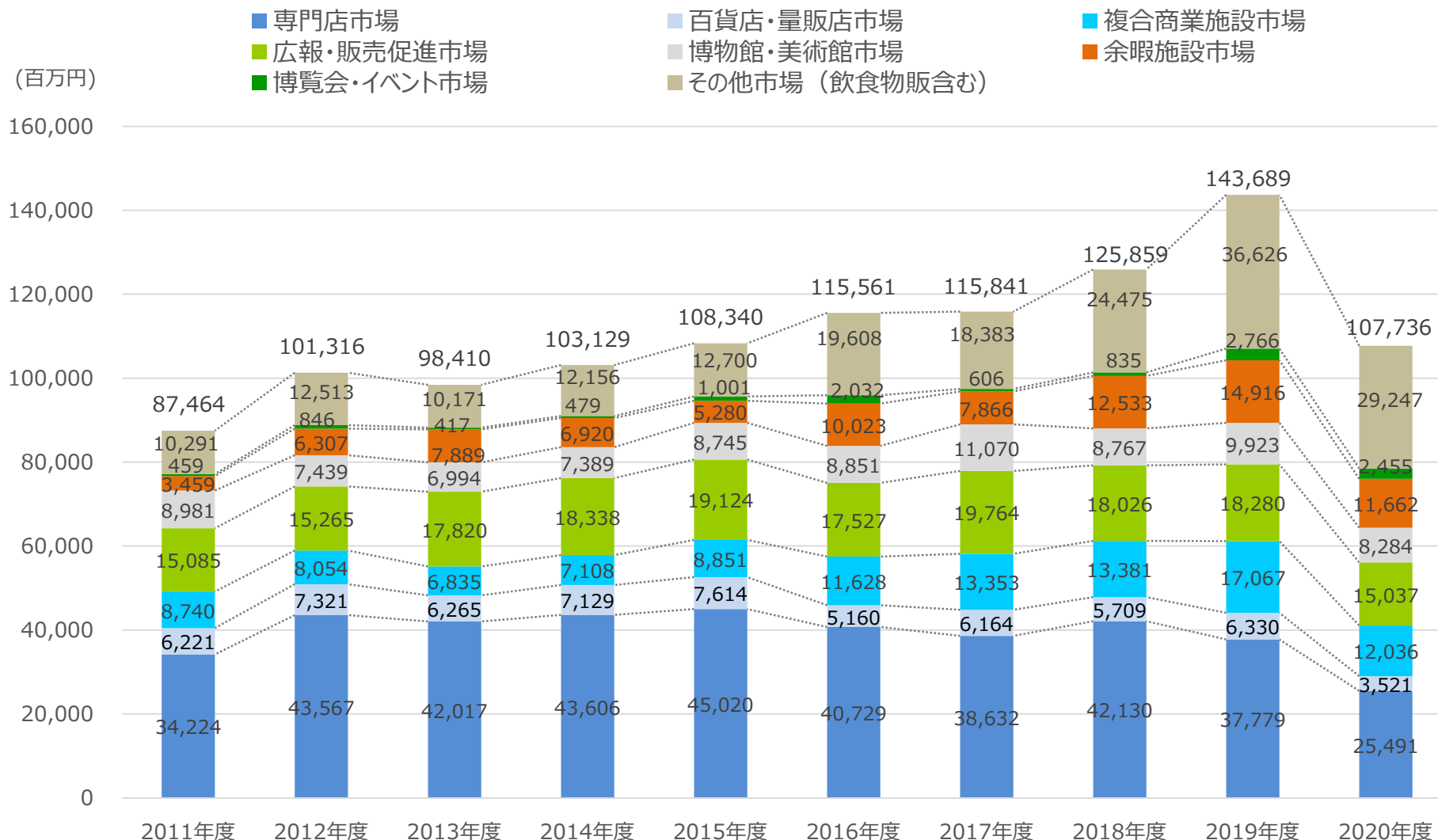


【通期推移】 受注高・受注残高



(注) 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載していません。

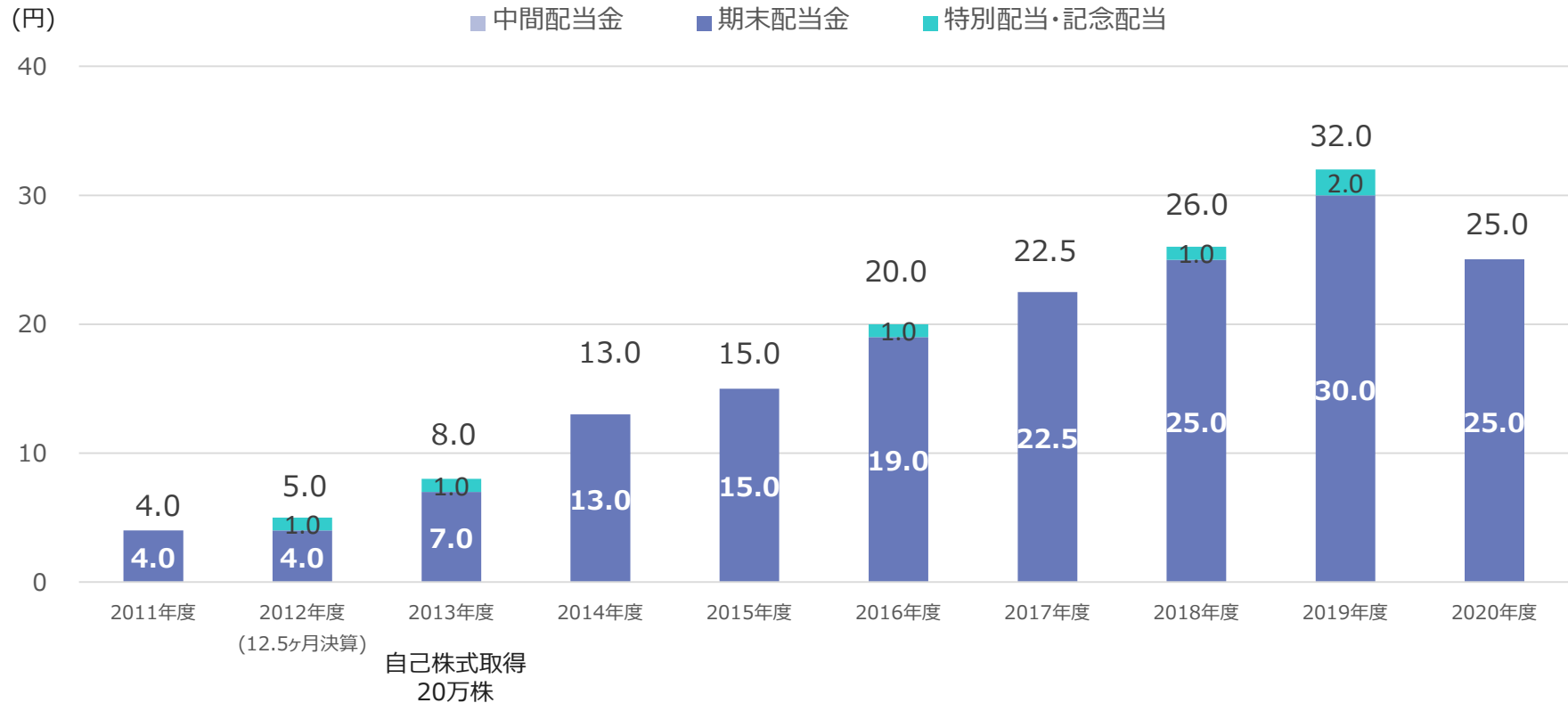
【通期推移】 市場分野別 売上高



(注) 飲食・物販事業はその他市場に含み、掲載しています。

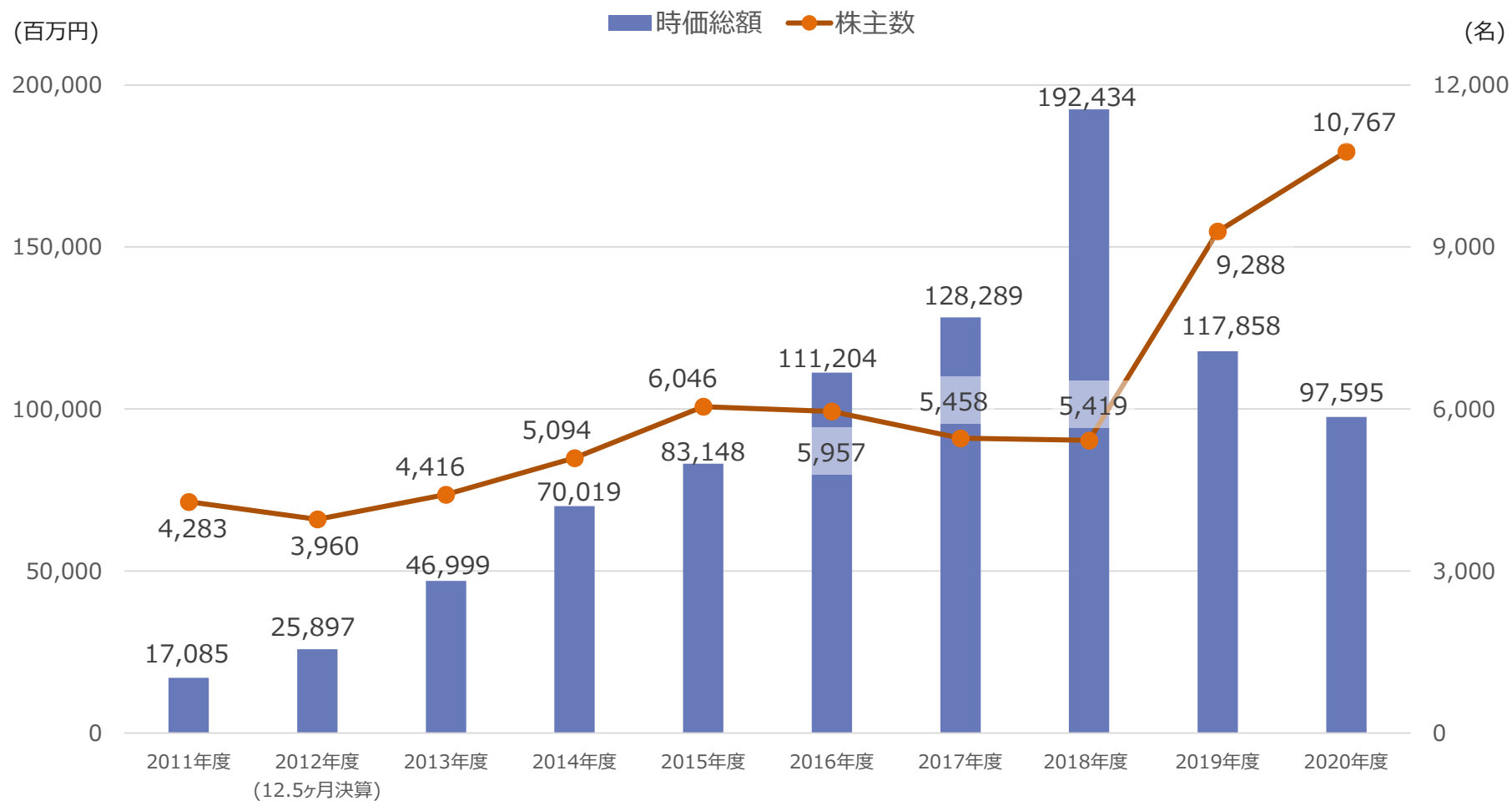
【株式情報】株主還元策と配当金の推移

※2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。下記は2010年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して配当金、株価を算定。



配当性向	73.9%	44.9%	48.4%	45.3%	43.4%	44.0%	44.4%	42.9%	45.7%	90.6%
株価最高値	174.0円	221.0円	526.0円	608.0円	966.0円	995.0円	1,324.0円	1,667.5円	1,600.0円	1,031.0円
株価最安値	100.5円	114.0円	213.0円	332.5円	551.0円	663.5円	901.5円	1,017.5円	961.0円	642.0円

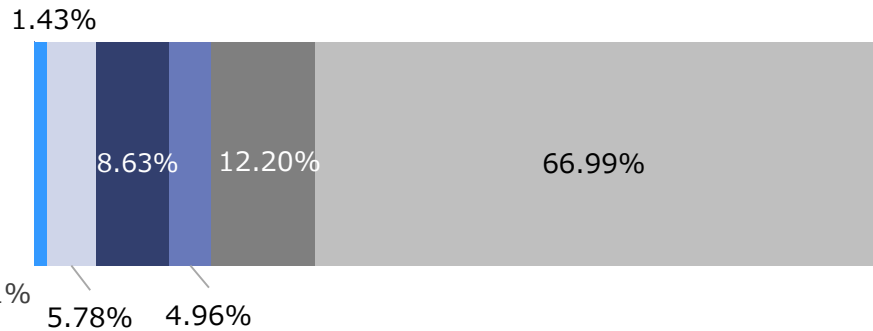
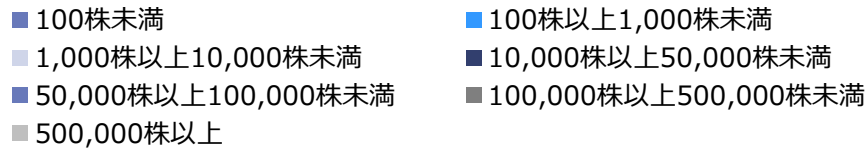
【株式情報】 時価総額と株主数の推移



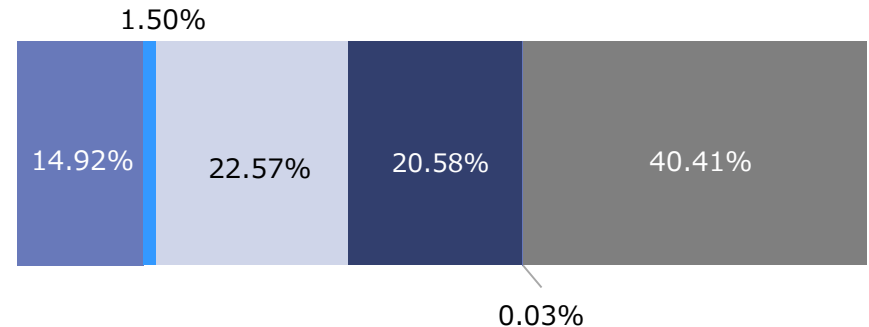
※各年度末における時価総額、株主数

【株式情報】株主構成 (2021年2月28日現在)

■ 所有株数別株式の分布状況



■ 所有者別株式の分布状況



100株未満	1,215名	10,272株
100株以上1,000株未満	6,384名	1,712,850株
1,000株以上10,000株未満	2,488名	6,928,007株
10,000株以上50,000株未満	487名	10,346,546株
50,000株以上100,000株未満	85名	5,948,545株
100,000株以上500,000株未満	72名	14,626,409株
500,000株以上	36名	80,323,959株
	10,767名	119,896,588株

外国人	225名	17,885,988株
証券会社	30名	1,796,019株
金融機関	30名	27,056,380株
その他法人	185名	24,668,804株
政府及び地方公共団体	1名	40,000株
個人・その他	10,296名	48,449,397株
	10,767名	119,896,588株

(注) 上記の分布状況はいずれも自己株式数を含んでいます。

3. 当社グループの概要

われわれは、人間尊重に立脚し
新しい価値の創造によって
豊かな人間環境づくりに貢献する

ノムラのいう人間尊重とは

ノムラは、生活者である人間の多様な価値観に対応し、快い生活環境を創造する。
また、ノムラは社員の人間性を基盤にして、働きがいのある自己実現の場をつくりあげる。

ノムラのいう新しい価値の創造とは

ノムラは、人と人、人との、人と情報が交流する新たな機能と可能性を追求し、最適な
集客貢献と空間創造を実現する。

ノムラが目指す企業像とは

ノムラのおくりだすものは、人間環境の質的向上をはかる生活文化そのものである。
ノムラはこの仕事を通じて、環境創造産業のリーダーとなる。

会社概要

創設	業立	1892年(明治25年) 3月
上場市場		1942年(昭和17年) 12月
資本金		東証1部(9716)
売上高		64億97百万円
従業員数		1,077億36百万円(2020年度)
		(2021年2月末日現在)

乃村グループ全従業員2,594名(契約社員含む)
 連結2,004名(正社員) 単体1,360名(正社員)

連結子会社 グループ会社10社

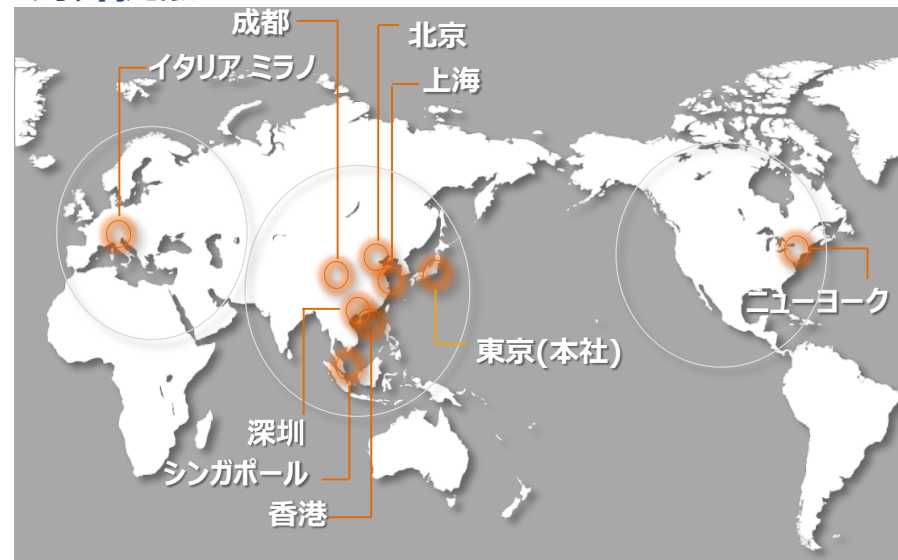
事業内容

ディスプレイ業 (※ 総務省 日本標準産業分類で定める事業)
 集客環境づくりの調査・コンサルティング、企画・デザイン、
 設計、制作施工ならびに各種施設・イベントの活性化、
 運営管理

国内拠点



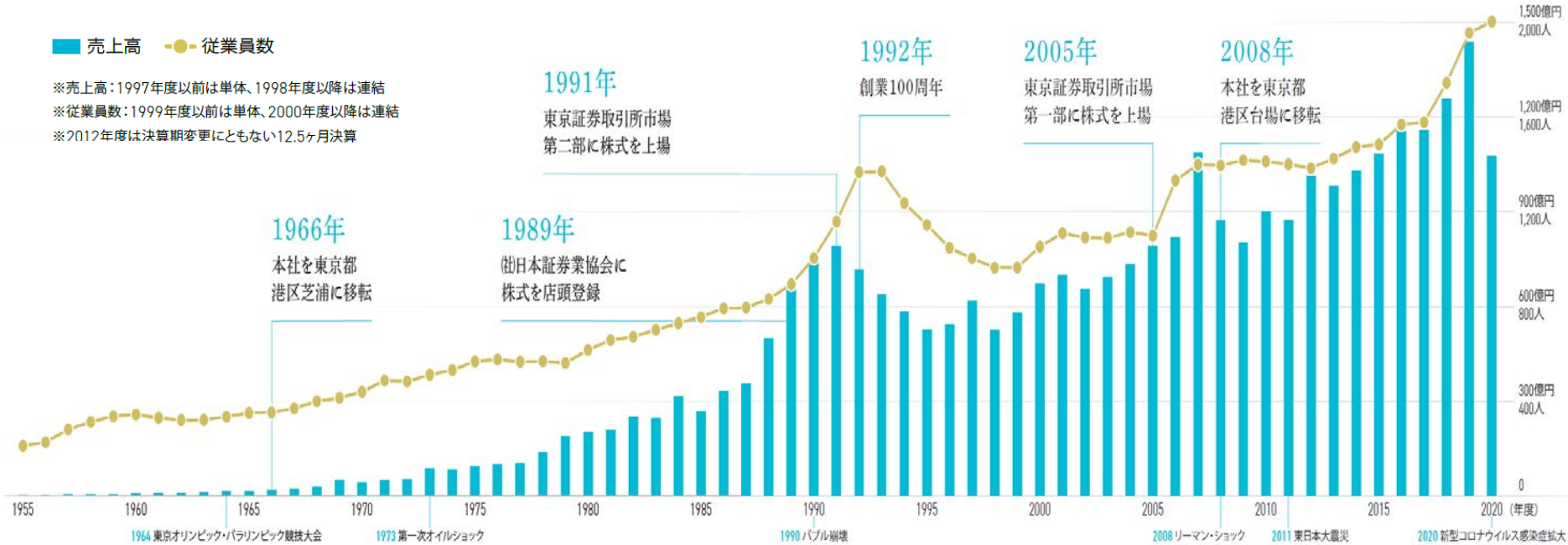
海外拠点



乃村工藝社の歴史

■ 売上高 ● 従業員数

※売上高：1997年度以前は単体、1998年度以降は連結
 ※従業員数：1999年度以前は単体、2000年度以降は連結
 ※2017年度は決算期変更にともない12.5ヶ月決算



1892年

乃村泰資が高松で創業、芝居小屋の大道具方として活躍



創業者 乃村泰資

1892年～1945年

大衆娯楽から博覧会・展示装飾への展開
 イベント(菊人形・国技館や靖国神社の催し・博覧会)・百貨店



岡国国技館菊人形「十二段返し」
1924年頃

1945年～1969年

経営近代化の始動とディスプレイ業の確立
 百貨店・博覧会・美術展・遊園地



高島屋大飯店の店頭装飾
1947年

1970年～1989年

事業拡大と経営基盤の強化
 万国博覧会・商業施設・博物館・展示会・企業PR館・ショールーム



写真提供：大阪府
 日本万国博覧会
1970年

1990年～2012年

市場環境の変動を超えて「選ばれるノムラ」へ
 ブランドストア・チェーンストア・集客装置・指定管理者と運営事業・まちづくり



日テレ大時計(宮崎駿デザイン)
2006年



東京ソラマチ®
2012年

2013年～現在

Prosperity Partner
 お客様の事業繁栄を実現するパートナーとして
 複合商業施設・ホテル・テーマパーク・オフィス・地域創生・デジタル分野

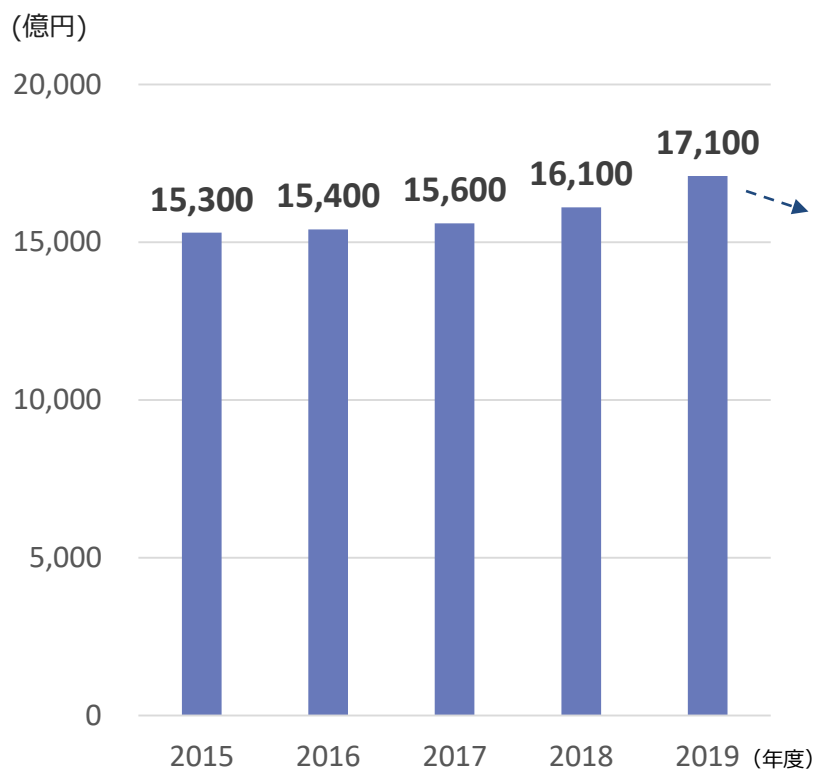


日本オリンピックミュージアム
 (電通・乃村工藝社・電通ライブ コンソーシアム) 2019年

ディスプレイ業界を取り巻く市場環境

■ディスプレイ業界の市場規模

リーマンショック後、緩やかに拡大し、2019年は1兆7,100億円、
コロナウイルス感染症の影響により2020年より需要が縮小



出典：(株)矢野経済研究所

■ディスプレイ業界の市場領域とそれを取り巻く業界

建設業、不動産業や広告業、イベント産業などの業界と密接に関係



ディスプレイ業界の市場シェア

経済環境が変化するなか、業界トップシェアを堅持

【ディスプレイ業界上位30社の売上合計に占める上位10社の占有率】

2010年度				2015年度				2020年度			
順位	社名	売上高	占有率	順位	社名	売上高	占有率	順位	社名	売上高	占有率
		(百万円)				(百万円)				(百万円)	
1	乃村工藝社	90,105	15.4%	1	乃村工藝社	108,340	14.5%	1	乃村工藝社	107,736	15.5%
2	丹青社	53,441	9.2%	2	丹青社	67,612	9.0%	2	丹青社	69,225	10.0%
3	J.フロント建装	34,995	6.0%	3	スペース	51,371	6.9%	3	三井デザインテック	45,410	6.5%
4	スペース	29,228	5.0%	4	J.フロント建装	38,714	5.2%	4	スペース	40,028	5.8%
5	エイムクリエイツ	23,834	4.1%	5	三越伊勢丹 ^{POA} デザイン	34,138	4.6%	5	ラックランド	37,164	5.4%
6	ジーク	23,786	4.1%	6	ジーク	33,446	4.5%	6	ジーク	26,214	3.8%
7	三井デザインテック	21,304	3.6%	7	シミズオクト	31,022	4.1%	7	J.フロント建装	24,155	3.5%
8	高島屋スペースクリエイツ	21,292	3.6%	8	三井デザインテック	30,985	4.1%	8	船場	21,707	3.1%
9	パルコスペースシステムズ	18,830	3.2%	9	船場	30,732	4.1%	9	ウチダエスコ	21,105	3.0%
10	船場	18,600	3.2%	10	高島屋スペースクリエイツ	30,250	4.0%	10	高島屋スペースクリエイツ	19,942	2.9%
上位30社の売上合計		583,907	100.0%	上位30社の売上合計		748,282	100.0%	上位30社の売上合計		693,373	100.0%

※ 上記は当社集計による数値です。

乃村工藝社の事業

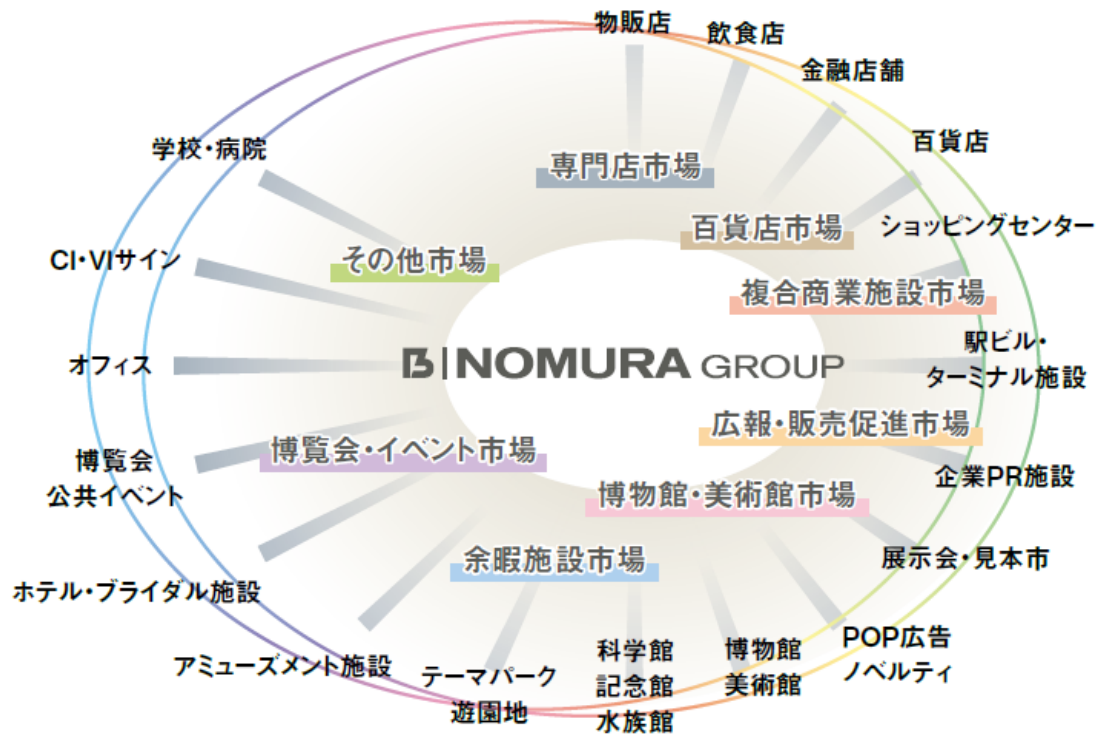
創業以来、約130年にわたり「人が集まる空間づくり」をプロデュースしてきた、
集客創造におけるプロデューサー集団

1

調査・企画
・コンサルティング

2

デザイン
・設計



3

制作・施工

4

運営管理

商業施設から、ホテルやオフィスなどの各種施設に加え、博物館・美術館、ショールームなどの展示、
博覧会・イベントといったプロモーション分野まで幅広く展開

乃村工藝社の強み

業界No.1を創り出す3つの強み

① 総合力

国内外で、大型案件を企画から運営まで手掛けられる体制

- ・国内拠点 **9都市**
- ・海外拠点 **8都市**
- ・グループ会社 **10社**
- ・協力会社体制 **500社以上**

② クリエイティブカ

企画・デザインによる差別化

- ・プランナー&デザイナー **620名**
- ・一級建築士 **122名**
- ・デザインアワード受賞数 **50**

③ プロダクトカ

高品質を実現する制作体制

- ・プロダクトディレクター **570名**
- ・一級建築施工管理技士 **307名**

お客様からの高い信頼、安定した顧客群

年間のプロジェクト件数

11,826件

年間の顧客数

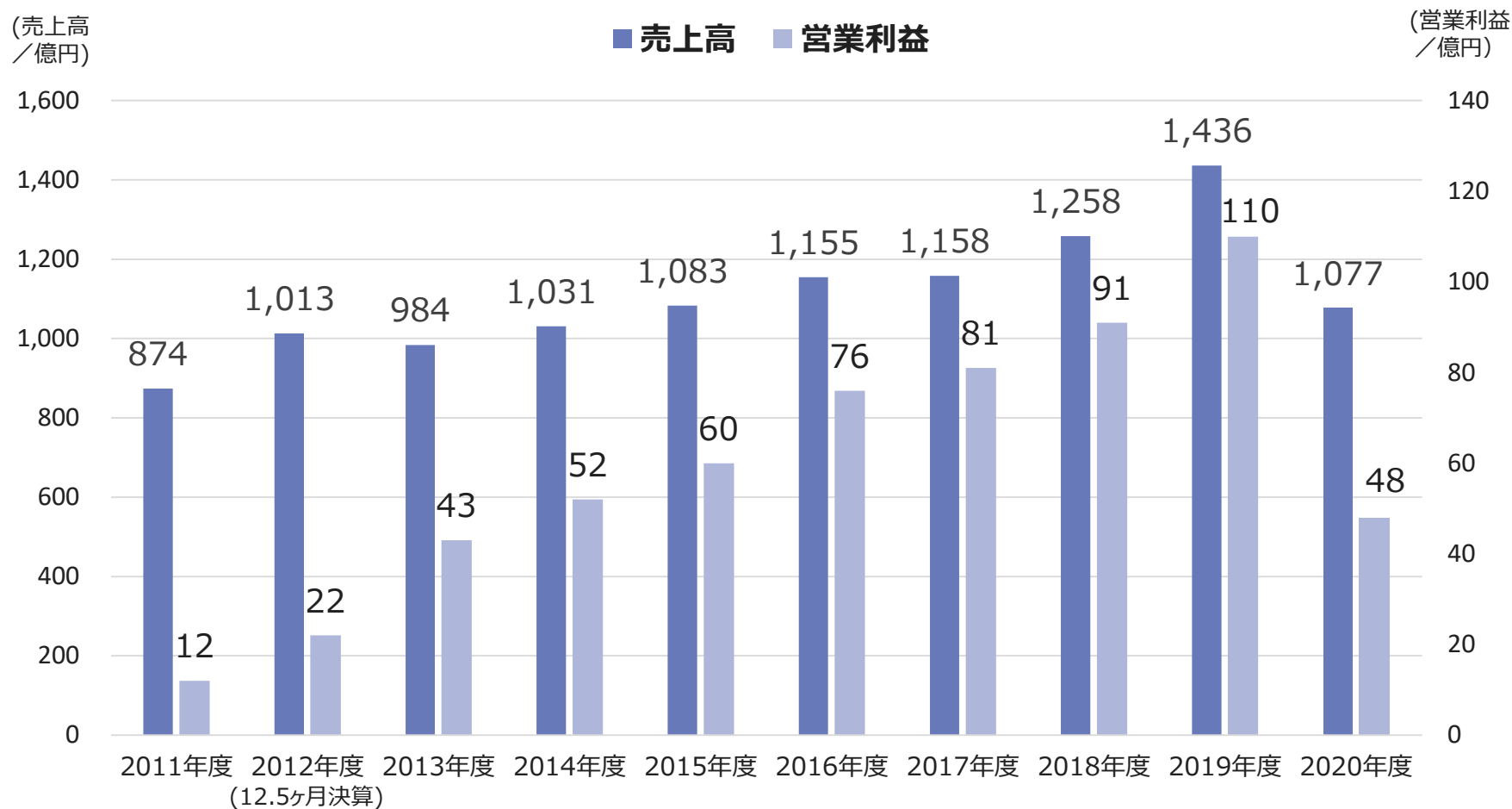
2,715社

継続顧客の比率

80.4%

各業界の主要
企業がお客様

通期業績の推移



株式会社 乃村工藝社

(証券コード：9716)

<https://www.nomurakougei.co.jp/>

IR・株式に関するお問い合わせ

経営管理部

(ir@nomura-g.jp)